

平成 17 年度第 6 回港北区指定管理者選定等委員会議事録

日 時	平成 18 年 1 月 31 日 (火) 午前 10 時 30 分から 12 時 00 分まで					
場 所	港北区役所 4 階 2 号会議室					
出 席 者	酒匂委員長、川原委員、岡委員、熊谷委員、根本委員					
欠 席 者	入江委員					
議 題	1 横浜市日吉本町地域ケアプラザの指定管理者の選定について					
審 議 結 果	1 議題 1 について 【原案了承】 <table border="1" data-bbox="410 373 1304 449" style="margin-left: 40px;"> <tr> <td style="text-align: center;">施設名</td> <td style="text-align: center;">選定法人</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">横浜市日吉本町地域ケアプラザ</td> <td style="text-align: center;">社会福祉法人 緑峰会</td> </tr> </table>		施設名	選定法人	横浜市日吉本町地域ケアプラザ	社会福祉法人 緑峰会
施設名	選定法人					
横浜市日吉本町地域ケアプラザ	社会福祉法人 緑峰会					
委員意見等	1 議題 1 について (法人の運営能力について) 委 員 奉優会については法人として管理体制等の土台がしっかりとしている印象を受けましたが、営業活動への記載も多く、営業優先に傾斜しないかという印象を持ちますがどうでしょうか。 作業部会長 民間の良い面を運営に活かしていただくことも必要だと思います。 委 員 緑峰会の監査結果では、宿直の体制や身体拘束などについて、毎年指摘を受けています。是正されないということは法人の体質の問題として気になる部分です。 作業部会長 指摘事項についてはヒアリング時に現在の状況を確認しましたが、改善されているとの回答を口頭で受けました。 委 員 事業計画についてであれば指摘事項等があっても改善の余地はあるけれども、法人の体質の問題はなかなか改善はできないのではないのでしょうか。法人の体質の問題は重要な事項であるだけに気になります。 委 員 監査の指摘事項については他の委員と同様に気になる点です。 委員長 この評価領域についての緑峰会の獲得点数が低いということは気にかかる点ですが、他の評価領域について議論した後に、またこの問題に立ち返って話し合いたいと思います。 (事業に対する熱意と経験) 委 員 横浜共生会は日吉地区に対する自信を持っている反面、提案が無難にまとめられてしまっていると思います。ヒアリングを実施して、応募団体の熱意の違いが見て取れることはありましたか。 作業部会長 評価は作業部会員による書面審査とヒアリングの回答が基になりますが、事業に対する熱意の評価は、緑峰会が一番高かったです。 (事業計画について) 委 員 予算に関する計画では、緑峰会のみ初年度からデイサービス部門で黒字を見込んでいますが、実現性はあると考えますか。 作業部会長 ヒアリングにおいては経理関係についての質疑はありませんでしたが、法人内の他の施設と連携体制を整え、サービスを拡充することで黒字になるという提案をされたと推測できます。収支については細かい条件設定をしていません。 委 員 緑峰会については栄養指導や口腔ケアなどを具体的な取り組みとして打ち出していますね。 作業部会長 緑峰会の提案は、地域包括支援センターが担う予定の業務内容を意識して提案していると考えられます。 委 員 緑峰会の提案は、日吉本町地域ケアプラザの立地的な要素も見込んだ上での提案ということでしょうか。 事務局 日吉本町地域ケアプラザのエリアは、高田地区よりも高齢者人口はかなり多いので、それを基に見込んでいると考えられます。 委 員 緑峰会はデイサービス利用者の利用実績を見込めると考えたのではないのでしょうか。					

委員 ケアプラザの経営は、1箇所で行うよりも2箇所のほうが効率は上がると思います。既にケアプラザを管理運営している団体に関しては、そういったノウハウは活かされると思います。

委員長 収支については評価上重視していないということですか。

作業部会長 部会の議論の中では大きな評価上の争点とはなりませんでした。

委員 デイサービス部門の収入額が少ない団体がありますが、公施設を使用して介護保険サービスを提供するという点から、利用対象者を的確につかみ施設規模に応じた利用者にサービスを提供することが必要だと思います。この点から、積極的にサービス利用者の需要を掘り起こす姿勢があるかどうかという評価をした方がいいのではないのでしょうか。

作業部会長 デイサービス部門での見込金額の差は、日吉エリアに対する各団体の期待の差として考えられます。

(総合的な評価について)

委員 緑峰会と横浜共生会が運営しているケアプラザの現状から、今後のサービス提供について判断できる事柄はありますか。

事務局 現在のサービスの提供に関しては両団体とも特別な声は寄せられていません。事故報告などについても両団体から頻繁にあがってくるといった事情もありません。

委員 横浜共生会が運営する下田地域ケアプラザの隣には緑峰会の運営するショートステイセンター「すいらん」がありますが、この両施設間の連携の現状についてはどうですか。

事務局 自分の法人の施設のみと連携するということはないと考えられます。

委員 監査の結果で、取締役代表者の親族が入っているという指摘を受けた法人については、改善の状況についてはどうなっていますか。

作業部会長 改善したとの回答をうけました。

委員 監査の指摘に対する改善状況については、厳密な対応をしなければなりません。

委員長 今後、事業報告書等で指定後もチェックしていく必要があります。それはこの委員会の大きな役割です。

委員 指定する際に選定委員会として条件を付けることはできますか。

委員長 条件付きの指定というのはできませんが、申し入れることはできます。

委員 監査の指摘内容にある、身体拘束に関してなどは、今後廃止に向けて国の取り組みが強化される可能性があります。

委員長 委員会としての結論をどうつけますか。

委員 作業部会での意見のばらつきもないので、緑峰会を第1候補者とし、法人として今後の利用者サービスの向上を期待したいと思います。

委員 法人の体質は気になる点ではありますが、緑峰会を第1優先交渉候補者としてよいと思います。

委員 法人の運営能力については、第1位ではないので第1優先交渉候補者として多少の不安が残りますが、日吉の住民の意識レベルの高さ、日吉本町地域ケアプラザにいい人材が配置されることを期待し、緑峰会を第1候補者としてよろしいのではないかと思います。

委員長 委員会としては、緑峰会を第1優先交渉候補者として決定します。